

JICA 課題別研修「道路行政」の実施支援

総務企画部 金子 祥子

1. JICA 課題別研修について

JICA 課題別研修は、JICA(国際協力機構)が実施する日本国内で行う技術協力事業の一つである。日本の発展過程における経験、知見を効果的に伝えるため、開発途上国から様々な分野の開発の中核を担う人材を研修員として日本に招き、研修を行っている。研究第一部は平成 28 年に続き JICA 東京より委託を受け、平成 29 年度「道路行政」研修の企画、運営を支援した。以下に研修について紹介する。

2. 平成 29 年度「道路行政」研修について

研修の目標:

道路行政に携わる研修員の道路計画、整備、維持管理に関する能力向上

期間:平成 29 年 11 月 8 日から 12 月 16 日

研修員:アフガニスタン、インド、インドネシア、ウガンダ、エチオピア、キリバス、コートジボワール、ソロモン諸島、タジキスタン、タンザニア、パプアニューギニア、フィリピン、モルディブ、ラオス、リベリア 計15カ国、21名

研修協力機関:国土交通省、国土技術政策総合研究所、土木研究所、道路新産業開発機構(HIDO)、片平エンジニアリング・インターナショナル、NEXCO 東日本、首都高速道路、NIPPO、酒井重工業、阪神高速道路、本四高速

道路関係技術紹介参加企業:

NPO 法人道普請人、住友建機、川田工業、鉦研工業、日特建設、田中衡機工業所、愛亀

主な視察先:

荒川河口橋維持管理現場(東京国道)、舗装施工機械工場視察(酒井重工業)、大橋 JCT、交通管制室(首都高速)、淀川大橋改修工事現場等(近畿地整)、震災資料保管庫、立体道路制度活用現場(阪神高速)、明石海峡大橋(本四高速)

日程表(概要)

開催日	講義名	講義担当機関
11/8	来日	
11/9-10	オリエンテーション	
11/13-14	カントリーレポート発表会	
11/15-16	日本の道路行政、各種施策について講義	国土交通省
11/17-27	道路交通需要予測 道路構造令 道路網計画(講義・演習) JICA プロジェクト紹介等講義	片平エンジニアリング・インターナショナル
11/28	道路建設工事について講義	NEXCO 東日本
	道路維持管理現場視察	国土交通省
11/29	舗装施工機械工場視察	酒井重工業
11/30-12/1	国総研、土研施設視察	国総研、土研
	橋梁について講義	国総研
	舗装、トンネルについて講義	土研
12/4	ITS 講義	HIDO
	首都高速の概要講義	首都高速
	交通管制、大橋 JCT 視察	
12/5	舗装工事会社視察	NIPPO
12/6	道路関係技術紹介	左記各社
12/8	近畿地方での講義・視察	国土交通省
12/11	近畿地方での講義・視察	阪神高速
12/12	近畿地方での講義・視察	本四高速
12/14	アクションプラン発表会	
12/15	閉講式	
12/16	帰国	

研修の概要:

本研修は、開発途上国の政府または政府関係機関において道路計画に従事し、将来指導的立場になることが期待される中堅の行政官 22 名を対象とし、日本の道路行政に関する知識を習得することで研修員の業務能力の向上に資することを目的として開催された。

研修の前半は導入として、国土交通省から講師を招き、道路開発に係る国の政策や法令を中心として、広

範な説明をいただいた。さらに民間コンサルティング企業より道路網計画策定に必要な知識について講義いただき、道路網計画を実際に作成する演習を行った。

研修後半は外部機関での講義や視察を行った。国総研や土研をはじめ、民間企業の研究施設や工場を視察し、最後は近畿地方の整備局および高速道路会社を訪問した。

民間企業の技術紹介は今年度も行った。これは日本の道路技術紹介の一環として民間企業にご協力いただき開催している各社保有技術のプレゼンおよびブース展示である。研修員が各ブースを訪問し、各国の問題点や企業の発表技術について企業担当者と直接話す機会を設けた。

近畿地整管内の視察では現在改修中の淀川大橋を見学する貴重な機会を設けていただいた。また、道の駅「くろまろの郷」への視察では、河内長野市長に表敬訪問し、首長と意見交換できる貴重な機会となった。特に限られた予算をどう活用するかといったところは研修員の興味を引いていた。

研修運営に際し、今年度留意した点は、質疑応答時間の確保である。例年研修員から不足が指摘されるため、質疑応答時間を最低 15 分間設けることとした。また、今年度はアクティブラーニングの手法の一つであるシェアリングタイムを導入した。各講義終了後、研修員同士で講義内容について話し合ってもらい、研修員間で各自が学んだ内容を共有、再確認した。

また今年度は、アクションプランの作成、発表会を再開し、研修員間での意見交換の場を作ると同時に、研修での学習内容を各自で整理し、自国の問題に適用することを検討する機会を設けた。

3. おわりに

本研修の趣旨をご理解いただき、講義・視察のご協力いただいた各機関に対し、ここに深く謝意を表したい。研修員には本研修を通じて研修の技術的な側面だけでなく、日本の文化や生活にも親しみを持っていただいた。今後我が国との関係を構築・維持してく上でのキ

ーパーソンとなっていていただくことを期待したい。



道路網計画 演習

(平成 29 年 11 月 22 日、JICA 東京)



企業技術紹介 企業ブース展示

(平成 29 年 12 月 6 日、JICA 東京 講堂)



近畿地整 視察

(平成 29 年 12 月 8 日、淀川大橋改修工事現場)

上記は、平成 29 年度に実施した課題別研修「道路行政」(発注機関:JICA 東京)の結果に基づいてとりまとめたものである